

PrimeSeat を楽しむ(37)
—BPODCH の 11.2MHzDSD ライブ配信(7)—

1. 始めに

インターネットイニシアティブ (IIJ) は、ベルリンフィルの定期演奏会の公演を DSD 11.2MHz にて無料ライブ配信すると発表しましたので、視聴することにしました。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202205/11/23304.html>

2. PrimeSeat 配信の試聴方法

プログラムは、次のとおりです。

演奏：サイモン・ラトル指揮ベルリンフィル

曲目：

ロベルト・ジェラール 《ドン・キホーテ》より舞踏曲

ロベルト・ジェラール 交響曲第3番《コラージュ》

アントニン・ドヴォルザーク 管弦楽のための組曲《アメリカ》イ長調 op. 98b

アントニン・ドヴォルザーク スケルツォ・カプリチオーソ op. 66

試聴方法は、下記で行います。

PC→UACU-700→Sonica DAC→ACCU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+ →
TruPhase



3. PrimeSeat 配信の試聴結果

今回はライブ配信ではなく聴き逃し配信で視聴しました。

ロベルト・ジェラールは初めて聴く作曲家ですが、スペインの現代音楽の作曲家だそ

うで、近年見直されているそうです。

《ドン・キホーテ》の舞曲も交響曲第3番《コラージュ》もいかにも現代音楽のようで、特に後者は打楽器や電子楽器などが、派手にちりばめられた曲です。

管弦楽のための組曲《アメリカ》は、新世界や弦楽四重奏曲のアメリカを連想させるような牧歌的な表情や民族舞踊のような表情を見せてくれます。

スケルツォ・カプリチオーソは、スペイン舞曲のような表情を見せてくれる曲です。

いずれも 11.2MHzDSDらしいディテールの再現が感じられます。

4. まとめ

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の DSD 11.2MHz の配信が受信できました。

以上